

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年3月25日

事業所名 障害児通所支援事業所 陽だまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定の約2倍のスペースがあるので、活動に合わせて有意義に活用している	
	2	職員の配置数は適切である	○		どのような場合でも、職員配置基準以上の職員を配置して児童の安全に努めている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各部屋の用途が児童にも視覚から分かりやすいよう、また活動しやすいように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染予防対策の取り組みからも清潔には気をつけており、安心して活動できる環境に努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		会議・朝礼・終礼等で意見を出し合い、より良い業務を行うことができるよう取り組んでいる。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いたご意見を基に業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開すると同時に、保護者の皆さんが閲覧しやすいよう玄関に掲示している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価については今後も検討していく。
適切な 支援	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修だけでなく、感染予防対策を実施した上で他事業所との合同研修会を実施することができた。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
× 援 の 提 供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラム立案会議を開き職員間で意見を出し合い立案を行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもたちが楽しく過ごせるよう、朝礼や終礼等も利用して活動内容の見直しを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団療育を主とした活動設定から個々に合わせた個別療育に取り組んでいる。	今後も細やかな支援を提供していけるよう取り組んでいく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時の打ち合わせだけでなく、視覚でも分かるようにボード等を活用している。	利用児・職員の増加に伴い確認事項が増えているが、緊急時等でも慌てることなく支援ができるよう報告・連絡・相談しながら取り組んでいく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼では意見を出し合い当日の振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		簡潔に記録できるよう工夫しており、その記録を見直すことでより良い支援に繋げている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	関 係 機 関 や 保 護	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて行っている。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の確認を取った上で併用利用している児童について情報共有を図り積極的に連携している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の確認を取った上で関係機関との連携は積極的に行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者の確認を取った上で併用利用している児童について情報共有を図ったり、合同研修会を開催するなど積極的に連携している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今年度は感染症予防対策からお互い行き来できず連携が難しかった。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の子ども部会に積極的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日の連絡帳以外にも送迎時等に保護者と対話し共通理解を図っている	これからも保護者の皆さんが話しやすい雰囲気づくりを心掛けていく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	保護者が日々の対話時に悩みごとと困りごと等を話しやすい雰囲気づくりに心掛けている。	専門的知識がまだ不十分なので、家族支援プログラムについての勉強会が開催される際には積極的に参加して支援体制を整えていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初めて福祉サービスを利用する保護者の皆さんに分かりやすい説明と心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時や保護者との日々の対話から悩み等を聴き出して対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		感染症予防対策を実施した上で、保護者参加の発表会を実施することができた。	今年度も感染症予防の考えから保護者会を開催することができなかったの で、今後は感染症予防対策を実施した上で保護者同士が交流しやすい新たな形の場づくりを検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者から相談があった際は個室対応する等の配慮を行い迅速に対応している。	これからも適切な対応を心掛けていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		陽だまり会報、法人全体の広報誌やホームページに活動の様子等を掲載して情報発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			今後も職員相互で気をつけ注視していく。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもたちや保護者が気持ちを出しやすい雰囲気づくりに心掛けている	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今年度も感染症予防対策から事業所を開放することが難しかった。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルに沿った取り組みを行っており、防犯カメラも設置している。	各マニュアルについての説明は契約時に行っており、現在感染症対応マニュアルについては都度プリント等でお知らせしている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回以上のペースで訓練を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬援助等が必要な児童については契約時に詳しく確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時や必要に応じて食物アレルギー等については詳しく確認している。	現在医師の指示書に基づく対応を必要とする対象児童はいない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内だけでなく法人全体で共有し対策している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		今年度は感染予防対策を実施した上で他事業所と合同で児童虐待についての研修会を実施した。	今後も研修会での内容を振り返り、職員間で注視し合い気をつけていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束についての勉強会を実施している。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。